

玉岡設計、高齢者住宅に参入

温浴施設との複合型提案

温浴施設設計大手の玉岡設計(愛知県名古屋)が、高齢者住宅設計・開発に本格参入する。

玉岡設計は、これまで介護施設や高齢者住宅の開発を手掛けたが、現在は介護施設と併せて、高齢者住宅の開発にも参入する。玉岡設計は、これまで介護施設や高齢者住宅の開発を手掛けたが、現在は介護施設と併せて、高齢者住宅の開発にも参入する。

来春、名古屋市内での老健開設を皮切りに、設計を開始している介護施設を2件持つ。現在は、介護施設に興味のあるオーナーを中心に土地活用

発。温浴施設の利用を一

▲全国の温浴施設併力所の設計実績を持つ



用されている。既存の温浴施設をバリアフリー化し、さらに岩盤浴や回想法の効果が期待できる空間にリニューアルすること、温浴施設に付加価値がつくと同時に高齢者住宅を連携させて、複合的なサービス提供を目指す。

玉岡設計は多ければ3年に一度改修を指す。温浴施設は多ければ3年に一度改修を指す。玉岡設計は多ければ3年に一度改修を指す。

く、同じ時間に来店し、施設でリニューアルの依頼が多く、そのタイミングで介護事業者などに高齢者住宅の開発を提案。名古屋を中心に、幅広いエリアで展開を検討している。

「既存温浴施設のオーナーやそのほかのオーナーは、高齢者の施設や住宅に関心が高い人が多く、商業施設開発とそこで提供するサービスを、高齢者住宅にも生かして特色ある複合施設を開発している(佐藤満常務取締役)